

IV 自由意見

IV 自由意見

一般調査のご意見を掲載しています。

○性別にかかわらず一人ひとりが尊重される男女共同参画社会の実現に向けてのご意見やご要望がございましたら、お聴かせください。

男女共同参画に関する意見（自由記述）として、142人の方から回答を得られました。

● 男女共同参画全般に関する意見	
女性（46件）	
まだまだ世代によって、男女間の性差があるように感じる。女性側から見れば、男性にも育児などに関わってほしいとも思うし、かといって女性ばかりが権利を主張しすぎることも良くない。意見交換の場やシンポジウムがあればいいと思う。（働く人と育児、介護する人など）そこに若い人も参加していくことが大事なのかもしれません。	（20～29歳）
性別に全くかわりなく一人ひとりが尊重される社会の現実、ほぼ不可能だと思う。男性と女性は脳の構造も体の作りも違う。その上、男性の中にも色々な考え方の人間がいるし、女性も同じ。結局、どんな逆境にあっても自分の足で前向きに歩いていけるよう、生きていくための教育をする事が大事だと思う。道徳、モラルの教育も。	（20～29歳）
公的なところから意識改善をしていかないと私的な部分は変わりにくいと思います。メリハリをつけて行える制度があるといいと思う。	（20～29歳）
女性、男性共に意識を変えていくべきである。	（20～29歳）
私自身は男女で格差を感じたり差別的なことにあった経験がないので、恵まれていたのだと思う。特に他の方の職場では、男性の方が優遇されているという話を聞いたこともあるので現状を知ることが大事だと思う。	（20～29歳）
女性を優遇すれば平等になるというものではないと思う。能力評価がきちんとできていれば、最初から男とか女とかの差は生まれないのではないかと。能力の低い人間や自分勝手な主張ばかりする人間は評価されなくて当然で、性別による格差ではないとはっきり言える環境をつくってほしい。	（20～29歳）
機会や仕事における男女平等には賛同するが、男女が完全に平等になる必要性は本当にあるのだろうか。生物学的に違いを持つ男女は、社会を維持し、生命を次世代に継承する手段として男権社会を築いてきた。それはそれでよいと思うのだ。今、言われている「平等」は、男性の権利を女性にも拡張してよいという許可を与えているにすぎず、男性優位の構図は変わっていない。	（20～29歳）
“性別にかかわらず一人ひとりが尊重される”ということが大切で、性は男と女だけではないという理解も大切。実際に苦しんでいる人はいる。また、職場では管理職がもっと育児休暇など推奨していくべき。	（20～29歳）
男女平等ばかりを気にせず、能力評価をしてほしい。	（30～39歳）
男性の仕事と言われていた所に女性が入り、それをめずらしいと言われている間は本当の意味での平等ではない気がします。どんな生き方をしても、それを「よし」としてくれる社会になればいいと思います。	（30～39歳）
女性が働きやすい社会になってほしい。保育所の充実。あずける所がなければ、仕事ができない。	（30～39歳）
古い考え方をあらためるべき(男女共に)被害者意識をなくすべき(女性)	（30～39歳）
男女平等になるには、さらに長い年月がかかると思うが、まずは男性が女性に対して、女性も男性に対して意識をかえなければ、なにもはじまらないと思う。	（30～39歳）

子どもの頃から、愛情をたくさん受けて、育つことがいちばんではないかと思います。思いやりの心とか、周りの人への感謝の気持ちの大切さ等も学び、行動することではないでしょうか。(30～39歳)
枚方市もさらなる努力が必要ではないか。(30～39歳)
男性、女性ということもそうですが、人間としてどうかというところを基盤に、相手、他者を尊重できる社会になってほしいと思います。(30～39歳)
男女共同参画社会の実現に関しては、よいことだと思う。ただ、男と女、やはり違うのだから、「自分は男」「自分は女」である事の意識は必要で、何でも平等であればいいとは思えない。小学校から全員「〇〇さん」と呼ばれるのは違和感を覚えます。男子は「〇〇くん」で良いのではないか。出産や母乳育児など、女性にしかできないこともあるので、何もかも平等というのは無理だと思います。(30～39歳)
私には息子が2人いるのですが、周りから「男の子2人なんて可哀そう」「次は女の子を産まないでだめよ」とよく言われます。知らない人からもよく言われます。そういった言葉に何度も傷つきました。赤ちゃんに対してまでそのような偏見を持つような社会を改善できるものならしてほしいと願います。(30～39歳)
何もかも平等、平等と声をあげるのはどうかと思う。男性、女性と人間に性別があるのはそれなりに意味があることだと思うのです。平等は大切かもしれませんが、押しつけにならないようにしてほしいと思います。(40～49歳)
実現してくれれば今後の社会がよくなってくれることを願います。(40～49歳)
まず子育てにお金がかかる。女性がかんばっても結局、税金でとられる。ガマンガマンの生活で、子どもは大学をあきらめて就職となり、本当に納得いかない世の中で、不公平になることが多い。公務員のみが安定している。(40～49歳)
心のゆとりの持てる社会で生活が安定すれば、弱い立場の人を思いやれる余裕がでると思う。(40～49歳)
形式的なものに終わらず、実現するように長期的に政策を講じてください。(40～49歳)
今、問題になっている子どもの貧困なども離婚されたシングルマザーの経済的自立の難しさなどが一因ではないかと思うので、皆が尊重される男女共同参画社会が実現してほしいです。まずは誰もが経済的に自立できる社会になってほしいです。(40～49歳)
男性、女性に関わらず一人一人が個人を尊重し、個人個人の考え方や他者に対する考え方などのセミナーなどあれば、受けてみたいと思います。(40～49歳)
私は考えが古く女性はもう少し控えめの方が良いと思いますが、「女なんだから」という言葉はよくないと思います。でも、能力があれば、女性も昇進できるよい社会だと思っています。(40～49歳)
一人一人の意識を変えるのはむずかしい。また、情報を得ていこうとしない人たちの認識がうすいので厳しいと思う。(50～59歳)
中、高生、3人の子育てをしています。公教育の質の悪さにやっと(長男の高校受験を期に)気づきました。学校教育の運営は、たいへんなことと思いますが、公の教育をもっともっと豊かなものにしてほしいと思います。困難な理由の1つに教育関係(教師、教育委員会)の方々が、同質は「いい人」ばかりであることのような気がします。主婦がどうすればよいのかということなどできませんが、他国の「反日教育」のごとく、男女平等についても「男女平等教育」を根気よく小中生にしていくこと、また、それも含め、質の高い公教育の実現が、よりよい、自殺率の少ない日本をつくっていくと思います。私も3人の子育て中、微力ながらがんばります。皆様もどうかねばり強くがんばってください。(50～59歳)
みんな違っていい。個性を尊重する。相手の話をよく聞く。言いたいことをストレートに伝えることができる人間関係が必要。また、そんな友人や配偶者をもつ。わからない、知らない、困っている、助けてほしいと言える社会なら大丈夫と思う。(50～59歳)

男も女も 1 人の人間。お互いできないところもあり、そんなところを補い合える人でありたい。男も女も大人も子どもも高齢者も健常者も障がい者も同じ人間であること、忘れないようにしたい。 (50～59 歳)
赤ちゃんから高齢者まで、すべての人が尊重され、幸せに生きていくことができる社会にしてください。 (50～59 歳)
とても理想的な計画ではありますが、各個人の意識の教育も必要と考えます。大変とは思いますが、期待しております。これから社会を担う若い世代の方々にとって早期の実現を。 (50～59 歳)
男女共同参画社会の実現に向けて、誰(団体)がどんな活動をしているのか、全く分からない。活動内容や進捗を知りたい。 (50～59 歳)
女性の意識はどんどん変わっていったのに、男性(特に中高年の方)の意識は旧態依然で何ら変わっていないように思います。まず、お役所の中でそういう点が改善されて、進歩的な組織になって頂きたいです。 (50～59 歳)
人はきっと幸せであれば、他の人にもやさしくできるのではないのでしょうか。皆様が幸せに暮らせる世の中に早くなりますように、政治に携わっている方に期待致します。 (60～69 歳)
家庭、学校、地域が協力して各自治体に働きかけるようにしたら良い。 (60～69 歳)
むずかしいことはわからないけれど、女性が社会へ進出してくれる事はうれしいです。色々な面で実現できたら良いと思います。 (60～69 歳)
学ぶ機会が少ないので職場内等、研修としてひろめてほしい。 (60～69 歳)
家庭や学校、専門機関から教わるのではなく、社会に学ぶことが多いと思います。たとえば、テレビやネットの中で 1 人ひとりが尊重される社会が見えるのでしょうか。暴力や人格を否定するようなシーンが多いように思えます。 (60～69 歳)
今は私達の頃から思えば、種々の職業に於いて男女の不平等は少しずつ改善されてきているようには思うのですが、男女というより人間として尊重される働き方ができているのかなと、疑問に思います。皆が心豊かに働ける社会がくと嬉しいです。 (60～69 歳)
自分に都合の悪いことを、「ハラスメントだ」と言って、ことさらに訴える(ハラスメントを悪用する)ケースが散見されるのは残念である。特に教育上、厳しいことを言うと、ハラスメントだと断定するような風潮があるのは残念である。 (60～69 歳)
男女平等権については、世代的に浸透してきているから、あまり深く考えていない。 (60～69 歳)
何もかも平等というのではなく、性差を意識した上での平等な社会があってほしい。 (60～69 歳)
全く平等には反対です。身体的に違いがあるのですから。 (70 歳以上)
最近女性威張っていて、私のような昔人間は寧ろ若い男性に同情します。結婚もなかなかできなくて悲しい。 (70 歳以上)
他の人への思いやり。 (70 歳以上)
男性 (51 件)
法制度などは、勉強すればわかるが、正直、差別を受けた記憶も、差別について真剣に話し合ったこともないので、差別と言われても、ピンとこない。過去、男女での待遇に大きな格差があったのは知っている。今もなお差別はなくなっていないのだろうと思うが、何が差別で何が区別なのかの線引きが分からない。これは、義務教育段階での差別教育が先生からの知識の教え込みに傾倒しているからではないかと思う。そのため、もっとディスカッションに力を入れ、子どもたちが自発的に考えるような授業が望ましいと思う。ただ、子どもにとっては、退屈なものになるかもしれないが。 (20～29 歳)
参画社会にするには、安定(負担を軽減)が必要。 (20～29 歳)

個々の意識改革が必要。	(20～29 歳)
人それぞれの意識を変えていくしかない。	(20～29 歳)
もっと生活のしやすい社会にしてほしい。	(20～29 歳)
全ての男女が望んでいるとは思えない。	(30～39 歳)
人とそれぞれに感じ方が違います。ステレオタイプの解答を集めても何の解決にはならない。なので、本当に必要なのは困っている事を聞いてくれる人。一緒に困り事に悩んでくれる人です。	(30～39 歳)
男女、年齢によって何事も判断されることが多々あると思う。男だから、女だから、年上だからなどという理由を付けて決め付ける事が、ちょっとした差別につながる。	(30～39 歳)
勤務している中学校でも取り組んでいますが、実施の方法が難しいです。市教委主宰の研修があれば、役立つと思います。男女の「性の差」や「特性の差」はありますが、持っている人権は同じです。一人一人が学ぶというより、考える場(機会)がもっと必要だと思います。	(30～39 歳)
やはり、昔からのしきたりや習慣が根強い。子どもは女性にしか産めないが、それ以外の大部分に性別は関係がない。個人の能力や個性をもっと認める社会が望ましい。やれ、結婚しろ、子どもを産め、仕事は一生続ける等、古い習慣を捨てること、つまり世間体も気にしないことが重要だと思います。逆にレディースデイ等、女性優遇もやめてほしい。	(30～39 歳)
各々の理解を深めていく。	(30～39 歳)
平等の意味をはきちがえています。女性を逆に優遇しすぎです。このアンケートも女性目線である。男は男。女は女の得意分野がある。	(30～39 歳)
男性と女性では能力の違いが多少あるので、理想と現実は異なる。	(40～49 歳)
男女の性別の差を理解していない者の絵空ごとを、行政が押しつける必要はない。そのため、能力ある男性が正当に評価されず、企業等組織が弱体化し、国際競争で負けていることが多い。また、有能な女性を評価せず、性を武器に企業等組織内で昇任する者を切り捨てない、「事無かれ主義」の組織が多い。要は、日本人はまだ未熟で、それを理解せず、「男女平等」を推進する行政は「アホ」だということを社会全体が声を出す必要がある。	(40～49 歳)
子どものうちの教育が全てだと思う。負の連鎖はなかなか断ち切るのは難しいが、基本はできるだけ家庭内で解決することが望ましい。そのように地域社会でサポートしていかないといけない。	(40～49 歳)
法律ではなく、社会のしくみを変えないといけない。ただし、変え方はわからない。	(40～49 歳)
制度だけつくっても、それをチェック、強制する方法がなければ意味はないので、そこまで考えていかなければならないのではないのでしょうか。	(40～49 歳)
性別は関係があり、それぞれが(能力や体など)尊重される社会を作るべき。その個人個人が能力を発揮できる社会は、良い社会だと考えますが、何でもかんでも、「男女共同」はおかしい。	(40～49 歳)
各世代が安心して、特に子どもたちがのびのびと成長していける為には、男性女性が共に力を合わせ、参画社会を実現に向けていくことは大事なことだと思います。	(40～49 歳)
それもいいと思います。	(50～59 歳)
人それぞれ、いろんな考えを持って生活されているので、ひとくくりにして、全ての男女を共同参画社会に入れなくても良いと思う。	(50～59 歳)
男女平等は賛成ですが、男女は異なるものです。私は男ですが、女性はずいぶん優遇されていると思います。逆差別にならないように。	(50～59 歳)
男女とも、もっと家庭や社会、職場、学校にあって、人を大切にすることを学ばず機会を作っていく。また、テレビやメディアなど、常識のある放送をしていくべきである。	(50～59 歳)

企業や法人の責任は大きい。法的に規制すべき。退職勧誘等の禁止等。	(50～59 歳)
本気で考えるならば、まず議員に比率を 1:1 にする。また、市役所の課長、係長等の役職の比率も男女 1:1 にする。	(50～59 歳)
個人や個性の尊重と地域社会との共存について教育を充実する。	(50～59 歳)
私は日本人らしさとか男らしさということが好きです。男女がお互いの性別を互いに尊重しながら、社会生活ができたらと思います。男女のそれぞれの特性を活かしていけたらいいと思います。だから無理して共同参画するのではなく、男女関係なく、個人の意志や能力で参画すればいいと思います。	(50～59 歳)
「一人ひとりを尊重しよう」と、一人ひとりがまず思うことが大切だと思います。みなが自分らしく生きてゆける世の中になってほしいものです。	(50～59 歳)
結婚したから、子ども出来たからって、えらそうにするのはやめて、他人にほこれることと、身内にほこれることは違います。	(50～59 歳)
女性優位の風潮を変えていくのはなかなか難しいと思う。女性側も共同参画というなら、自分の能力を高める努力が必要である。	(50～59 歳)
男女の人権の話は、結局、女性が不遇にあることが前提で始まります。部落問題のようにならないよう切望します。夫婦の一番の仕事は子育てです。	(50～59 歳)
道徳教育の充実。	(50～59 歳)
共同参画は良いが、同等の能力、同等の要求に全てが同一で、評価も同一にしないと意味がない。女性優遇の意識を変える必要がある。	(50～59 歳)
男女共同参画の社会をめざすのはけっこうだと思いますが、あまりにも法的に拘束しすぎるのはいかがなものかと思う。	(60～69 歳)
経済的理由の解消が一番重要である。	(60～69 歳)
もっともっとそういうふうになっていくと思います。	(60～69 歳)
当課題は日本のみならず世界的にも遠大なテーマと云え、それだけ人類の歴史は進化していないとも言える。身近なところから言って、自分を他人と比較しない気持ちになることが重要だと思う。	(60～69 歳)
男性、女性、1 人の人間として社会が見なければならないのでは。	(60～69 歳)
国、自治体、企業等が女性の管理職の割合を数で決めるということは不合理。これこそ男女平等ではないはず。	(60～69 歳)
もうすでに性別にかかわらない社会ができつつあります。	(60～69 歳)
人のいやがる事はしない。自分にしてもらってうれしいことは他人にもしてあげる。子どもの時に教育すること。	(60～69 歳)
今の世の中、女性は恵まれていると思います。平日、レストランで食事している人、デパートで買い物してる人、公園や観光地で遊んでいる人、たいてい女性が多いです。けっこう女性達は幸せじゃないでしょうか。私の周りでは、女性の方が強いようです。	(60～69 歳)
まず身近でおこっている問題について、ささいな事でも相談にのってくれる所が必要かと思います。余りに無関心さが多いの事件をおこします。交番所、自治会への相談が積極的に交流できない仕組みになっているようです。	(60～69 歳)
男女共同参画は男女平等とは違うと思うので、「男は男らしく、女は女らしく」は忘れないで、その上での共同参画であるべきだと思う。	(60～69 歳)
全ての人が豊かにならないとダメ。	(60～69 歳)
おたがいの人間の価値観の向上。	(70 歳以上)

男女共同参画社会をめざすのは何のためなのか。その目的、理由がやや不明確である。日本経済の発展のためなのか。人口の減少化のために労働人口を増やすためなのか。これはそもそも誰が言い出したことなのか。マイナス面についての配慮が軽視されるなら、問題はさらに大きくなる。たとえば、女性の社会進出は子どもを産み育てることに影響し、さらなる人口減少となる。女性の社会進出は職場での不倫、家庭崩壊、母子や父子家庭の増大など。 (70歳以上)
人間(動物を含む)基本的な特性、性格を知り、尊重すべきと思う。そのためには、あらゆる社会に啓発することが大切。 (70歳以上)
このようなことを市として取り組むのは難しいと思う。個人、または、会社、職場などでの取り組みが必要です。 (70歳以上)
男女平等の精神は何も男女が同じことをするのが目的ではないはずである。満足できる社会を作ることであるべき。現在の姿はそれから少し逸脱していないか見直すべきである。要は個人が最も希望することのできる生活ができるように心がけるべきである。 (70歳以上)
お互い思いやる気持ちが大切で、自分のできる範囲で実行したい。 (70歳以上)

● 性別による固定的な役割分担意識、仕事と生活のあり方に関する意見
女性 (30件)
今すぐは無理でも、共働き夫婦が子どもを持ちやすくなるように、制度を整えてほしい。 (20～29歳)
現在の日本の就業体制や慣習では難しいと思います。女性が働き続けられる環境、また、男性が育児や介護に参加できる環境づくりが必要だと思います。私の職場は女性が中心なので、働き続けられることが多いですが、会社員の方ではやはり退職しないといけないうケースもあると聞きます。認識を変えていくのも大切だと思います。 (20～29歳)
経験、就労などの機会が男女平等になるべきだとは思いますが、生理、妊娠等、性別上どうしてもないことも事実なので、性差を尊重することも重要だと思います。難しい問題だと思いますが、取組に期待しています。 (20～29歳)
子どもがいても女性が働きやすい社会をつくってほしい。 (20～29歳)
私自身女性という立場を利用しているところもあるのかもしれないとアンケートにこたえながら感じました。上司や男性とうまくやっていくために好かれるために本当に嫌なことでもなければ冗談で笑ってしまうこともよくあります。女性自身がどう考えているかということもとても重要なかもしれないですね。 (20～29歳)
ある程度の男女の役割があつてよいかとは思いますが、でも、弱いのは女性。根本的な問題は日本社会や世間の意識だと思う。年齢が上の人ほどひどい。 (20～29歳)
パートタイムで働く時、育児休暇取得が大変難しい。法的制度改革化、早急に必要だと思う。 (30～39歳)
男女は全く平等ではないと思います。表向きだけ、男女雇用機会均等法があるだけで、男社会で対等に働くように強要され、安い給料で必死に働いても、将来のメドが立たず、毎日必死に仕事してある程度の年齢になったら「まだ結婚しないのか」「女なのに子どもを産まないなんて」。産んだら正社員への復帰は難しく、子育てと家族の(家庭)の仕事が山のように積まれる。時々人生がばからしくなります。 (30～39歳)
育児休暇やつわりのひどい時期に仕事をすんなり休ませてもらえるようになったらいいなと思います。まだ一部の企業でしか、そのような休暇がとれない。あと、有休もとれる会社ととれない会社がある。このアンケートで全体が良くなればいいと思う。 (30～39歳)
短時間勤務を男性もとりやすくしてほしい。 (30～39歳)

<p>平等にしていくな、女性の仕事と家庭の両立の面だけではなく、男性の方を改めるべき。残業や休日出勤、つきあいなどで家庭に参加できないのが現状。本人の問題ではなく、社会や会社の体質の問題である。 (30～39 歳)</p>
<p>男性、女性の役割は何だろうと思う。時代と共に変化してきていると思う。人それぞれの考え方があるので、何とも言えない。男だから、女だからと考えていては、今の時代は厳しいと思う。未だに男女平等と言えないかと言われればそうだが、昔と比べるとまし。 (30～39 歳)</p>
<p>国や市が条例を考えても、まだ民間企業には浸透せず、仕事と生活の調和は実現できていないと思います。男性の意識が変わって育児参加しようとするも、労働基準法にひっかからないぎりぎりの残業、仕事量の多さから、実際は育児できず、したとしても疲労が積り、体調を崩したりと、調和できる余裕はありません。企業に国からもっと法律をつくり、プッシュして頂きたいです。 (30～39 歳)</p>
<p>子どもの急な病気の時にも対応してくれる労働環境のある職場を増やしてほしいです。そうなるともっと主婦もパートなど仕事に就きやすくなると思います。 (30～39 歳)</p>
<p>私自身は「男の役割」「女の役割」というか、それぞれにしかできないこともあると思うので、すべてを平等にという意見にはどちらかという否定的なのですが、こまかい所で女性の役割が多いのに気付かない男性は多く、またそれを訴えるのも変な話だし、また言わずに気付くというのも難しいと思うので、「ちょっと休みたい」と女性が思っていたらもっと口に出して言える社会になってほしい。男性もそれに理解を示せるようになってほしい。(今は「大したこととしてないのに」みたいに見られがちだから) (40～49 歳)</p>
<p>男女共同参画社会の実現に向けては、ジェンダーをなくし、女性、男性が共に育児休暇を取得できるような環境が必要だと思います。 (40～49 歳)</p>
<p>女性は妊娠、出産の際、仕事面で不利になる。少子化も進んでいるので、企業側は妊娠、出産を奨励してほしい。仕事を優先させて、高齢化し、不妊に悩んでいる方も多いと思います。晩婚化は仕方ないかもしれないが、高齢になると不妊になりやすいことをもっと広く教育する方がいいと思う。気付いた時には手遅れなので。 (40～49 歳)</p>
<p>男女共同参画社会にする為には、男性の意識改革、夫の親、特に母親の意識改革が必要。そして、女性が働きやすい環境。たとえば、子どもが急に熱を出した時や、家に持ち帰りの仕事など自分で時間を決められるような柔軟性のある会社(男性に対しても)。 (40～49 歳)</p>
<p>女性が男性なみに稼げるのは看護師くらいしかなく、現実、女性は子どもの学校行事や自治会などで職場を休みながちとなる。何をどう考えても、女性は不利になり男女平等というのは不可能である。 (40～49 歳)</p>
<p>枚方市が、女性が働き、子育てしていくのに制度上はとて力を入れていると感じています。さらには意識改革できるような取り組みや国への働きかけもして行ってほしいです。(50～59 歳)</p>
<p>育児や介護に女性や 1 人の人間によりかかりすぎていると思います。社会制度は、まだまだ不十分でまた、お金がかかりすぎます。 (50～59 歳)</p>
<p>まだまだ男尊女卑の意識は根強い。義母と同居しているが、仕事と嫁の両立が大変むずかしいと感じているのは、「女は…」の意識が根強すぎて、しんどい。私自身もどこかにその気持ちがあり、家事ができないことを負い目に思っていて、もやもやする。 (50～59 歳)</p>
<p>女性の場合、まず経済的に自立する事が大切だと思う。それに伴い、家事、育児等、女性にかかっていた仕事に男性も参画しお互いに社会生活を平穏に行なわれる様に努力すべきだと思う。 (50～59 歳)</p>
<p>子どもを育てている世帯主は全て正規雇用しなくてはいけないというような世の中にしてあげてほしいです。(シングルマザーを特に)。 (50～59 歳)</p>
<p>基本的には男女平等なんてありえないと思う。男には男の役割があり、女には女の役割がある。いつの頃から平等とか言い始めて、男が弱くなってしまった。男は強く外で戦わなくてはならない存在なのだ。女は男の子をウルトラマンのように強くそだてなければいけない。いつからこんな情けない世の中になってしまったのだろうと思う。 (50～59 歳)</p>

<p>家庭は子どもにとって一番身近な手本であり、夫婦が話し合い協力する姿を見せる事が大切だと思う。しかし、現実には、仕事量が多かったり、単身赴任など、ぎりぎりの状況で子育てをしている場合が多いと思う。社会の仕組みを変えなければ、理想だけで終わってしまう。(50～59歳)</p>
<p>若い方は男女平等の意識があるかもしれないが、50代以上は今さら家事できないと思う。(50～59歳)</p>
<p>男女の性差、特性を生かして、うまく男女が役割を果たし、助けながら社会が回ればいいと思います。(50～59歳)</p>
<p>子育てで子どもが自分が大切にされていると思って、大人が他人を大切にしているのを見て育てば、人を大切にできると思う。労働時間を短縮して、父親を家庭に帰し、育児・介護の負担から女性を救うべき。(50～59歳)</p>
<p>本来の自由とは、女性が家庭にいても、社会進出するのも好きに選択できる社会だと思う。労働力で賃金を得るのも社会参画かも知れないが、次世代を産み育てるのも立派な社会参画だと思う。(60～69歳)</p>
<p>男性 (15件)</p>
<p>女性が優遇されている場も多い。(性的な訴えにおいて)政治や仕事の間では、まだ男性の方が優遇されていると思う。子どものいる家庭に何か対策をするとよいと思う。(20～29歳)</p>
<p>誰もがまっとうに生きてるなら、生きていけるよう、政府は保障してほしい。残業を無くす。教育を変える。(30～39歳)</p>
<p>固定観念の問題も無視できないが、それよりも、子育ての環境をより良くする方が優先ではないか。その次に時短勤務等の制度面の改善。子どもが小さいころから、そのような環境が整っていれば、まわりの大人が皆で社会に参画している状況になりやすく、”性別にかかわらず一人ひとりが尊重されている”ことを見て育つため。これが”普通”になる。その子には、ここで問題にしている固定観念というものはない。(30～39歳)</p>
<p>友人の奥さんは「私が仕事したら旦那が仕事頑張らないから、私は仕事しない。」と言っていた。そういう人もいる。一方で看護師さんの様に夜勤や休日出勤等ハードワークをこなす知人もいる。要は、その人それぞれのワークライフがあり、働きたい人は働けばいいし、ただ、今の社会は男性の給与が上がらず、生活のためやむなく働いている女性もたくさんいることを知ってほしい。景気が上がり男性の給与が上がれば、働かずにすむ配偶者もいる。男女平等な社会といっても私の周りではできれば働きたくない女性が圧倒的に多いのも事実であり。結局は男性が仕事、女性が家事、育児というのが正しいと思う。共働きは子どもが可哀そうに思える。もっと、欧米の様にお互いを尊重し合えば男女平等に近づくとと思う。(30～39歳)</p>
<p>電車の女性専用車両や、レディファースト等、女性ばかり優遇され、また男性に無言でそれを求めたりすることが暴力的で、「草食系男子」などと男性の身分低下にばかり力を入れている気がします。共同参画といえど、男と女の区別や分担はハッキリさせておくべきで、それは決して差別ではない。自分の好きな人から言われていれば文句を言わないが、嫌いな人から少しでも言われれば差別や平等だと、どなりちらす。これはただの好き嫌いで平等や共同とはかけはなれたものである。(30～39歳)</p>
<p>社会的な固定観念を捨てて、取り組む必要があると思う。ただ、実生活で子どもを保育園に預けるとしても時間に制約がある。社会的に男・女がわけへだてなく働ける環境が必要。(40～49歳)</p>
<p>男女は平等であり対等だが、生物としての機能差、役割の差はある。それを社会のなかの平等とどうすりあわせかが重要。男は出産できないし、女は妊娠させることはできない。(50～59歳)</p>
<p>男女参画の前に参画できる環境が整っていないので同時並行でも環境整備を急ぐ。女性が弱者になってしまっていて、参画する前に、その意欲がしりごみしないよう祈る。男女雇用均等法も環境が整ってないまま法律が先行した。その時の女性の総合職の扱いはひどかった。配慮する所もせずに均等に、みたいなバカな人事部がたくさんいた。(50～59歳)</p>
<p>女性が働くのが普通という環境をつくる。(50～59歳)</p>

男女ではなく、会社でも社会でもその人を正当に誰もが納得できる評価をする社会にすべきである。会社や役所でも評価などは評価者の好き嫌いが一番に反映されている。銀行や役所などほどその傾向が強いからあまり役所がこのようなことをしてもあまり功を奏さないのでは。(50～59歳)
夫婦共働きは、長い人生共に力を合わせて経済的により安定させる事につながります。一方、子どもたちを育てていく事に、公的・私的な施設、サービスが必要となります。この受け皿の充実を進めて頂きたい。(50～59歳)
女性に対しては、まだ援助されるシステムが確立されつつありますが、父子家庭や暴力を受けている男性への相談場所はなかなか難しい。女性が社会進出したいと同じように、家庭で家事をこなし、両親の世話をし、子育てをして家庭の中で生きていきたいと思っている女子(今までと同じよう)男子もいるのです。なぜ両方が働く事だけが、クローズアップされるのか、今、私がこうして人並に家庭をもち、子どもたちが独り立ちできる子どもに育ったのは、専業主婦の母に育てられ、専業主婦の妻が子どもをしっかり育ててくれたからだと思う。それが夫であっても構わないけど、両親が働き、朝早く子どもたちを送って行き、夕方暗くなってから迎えに行き、ただ育児をこなしているような今の家庭のあり方の中でひきこもりやDVをする子、1人立ちのできない子が育ったのではないかと思う。子どもの手は親から離してはいけない。子どもの方から親の手を離すまでは。と私は妻から聞いたことがある。そして、私たちの子どもたちは少しずつ指1本ずつ親の手を離してきました。二人の娘たちは、息子のお嫁さんが妊娠を期に正社員であった会社を辞めると聞いた時、「うらやましい。ほとんどの友達が経済的に可能であれば、そうありたいと思っているよ。」って言ってました。ほんの一部の立派な立場で仕事されてる方は別にして、育児サービスの充実より、専業主婦手当や子どももたくさん生み育てた方が得みたいになったら少子化もなくなるのではないでしょうか。そりゃムリですよ。働く二人が三人の子どもを育てるのは。ちょっと方向がちがう話になりましたが、この機会に少し日々思っている事を書いてみました。男女平等には大賛成ですが、社会の流れには逆行した考えかも知れませんね。乱筆にて。(50～59歳)
女性が元の職場に復帰できる環境を整える。保育所の充実。(60～69歳)
男女共同参画社会の実現も大切ではあると思うが、それよりもっとも大切なのは、正直者が損をしない社会作りをすることではないかと思う。男にしかできないこと、女にしかできないことを互いに尊重して健全な社会をつくって行かなければ日本の未来はないと思う。(60～69歳)
子どもたちが今は大学、専門学校へ行くようになり、そのため親の負担が多くなるので、幼稚園、保育園を自宅待機することなく、すぐ入れるようにしてあげると、女性も安心して社会進出できると思います。職場では男女関係なく、一人一人の人権を尊重し、学歴関係なく(学歴重視する所が多い)個人の能力、また、良い所を見つけ、みとめてあげて楽しい職場作りを心かけてあげると、皆さんが今もっている能力等を発揮できるのではないのでしょうか。(70歳以上)

● DVなどの暴力に関する意見

女性(6件)
DVに関して、配偶者(夫)が私に対して、こういうことをされたらイヤ、ということが理解されていない。たまには妻もお酒を飲んだり、夜遊びしたりもしたい。それを何時に帰ってくるの。など、しつこく聞いてくるし、何度も電話してくる。少しは自由にしてほしい。「お前は母親なんやで」と、どなられたりもした。じゃあ、父親は何をやってもいいの。という感じで何度もケンカして、別れたいと思った。その一方で、「スキ」「愛してる」と言ってくる。今は本気で話し合い、お互いにいい方向で生活している。夫は言葉にしなないとわからないと言っているの、何かあれば遠慮なく話している。(30～39歳)
DVでは夫婦間よりも、親が子どもに対してのDVするケースの方が圧倒的にひん度が高いと思う。子どものケアの方が大切ではないでしょうか。(40～49歳)
DVやハラスメントに苦しんでいる人が気軽に利用できる場所を目指してほしいです。(50～59歳)

<p>問 27 に関連しますが、離婚原因は元配偶者の DV でした。気の弱い人が、普段のさまざまなストレスをお酒が入ると爆発させ、しかも覚えていません。問 27 のような質問、とくに①や⑥はよく耳にしますが、実際夫婦として生活していますと当然、情もあり、支えようともします。絶対にあってはなりませんし、シェルターは必要です。生命の危険だって何度も感じたことがありました。友人や知人に相談しても、悪気はないのですが、“何でそんな人と結婚したん”と実のない、また心ない質問を浴びせられるだけでした。</p> <p style="text-align: right;">(50～59 歳)</p>
<p>女性が多い職場であるので、DV は職場にはないように思う。DV しているという認識のない男性が多い。50 歳以上の男の人は、特に家事は女がするものときめている人が多く、えらそうにしているので、結婚というのは男の人の便利な法律であると思った。考え方や意見の不一致であるので離婚もみとめてほしいと思う。離婚の方がパワーがいるというが、簡単に別れられる方法を知りたい。</p> <p style="text-align: right;">(50～59 歳)</p>
<p>DV についてはテレビの中でのことで、まだ幸いにも話も聞いたことはありません。</p> <p style="text-align: right;">(50～59 歳)</p>
<p>男性（2 件）</p>
<p>DV はよくわからない。</p> <p style="text-align: right;">(20～29 歳)</p>
<p>気軽に相談できる窓口（機関）の充実を、周知をして問題（事件）の未然防止が重要である。</p> <p style="text-align: right;">(50～59 歳)</p>

○このアンケート調査についてのご意見がございましたら、お聴かせください。

アンケート調査に関する意見（自由記述）として、150 人の方から回答を得られました。以下に、代表的なご意見を掲載しています。

- 自身の意識改革につながった。
- 男女共同参画について考えるきっかけとなった。
- 有意義な調査だと思う。
- このアンケート調査が必要なのか疑問を感じる。
- 枚方市がよりよい市となるようにアンケート調査結果の活用を望む。
- 性別にかかわらず生きやすい男女共同参画社会の実現を願う。
- 設問によっては、提示された選択肢だけでは不十分だと感じた。
- 設問の意図がわかりにくいものがあった。
- 設問が多く回答に時間がかかった。
- アンケート調査結果の公表を望む。
- （調査方法や調査票様式等について）